☆☆2026 年 8 月 6 日（第 8 版）
☆2020 年 4 月 9 日（第 7 版）

☆☆医療機器承認番号：22200BZX00268000

機械器具 32 医療用吸引器
管理医療機器　電動式吸引器（JMDN：36777000）特定保守管理医療機器

販売名　エリートサクションユニット　ＥＳ－７０００Ｓ

【警告】

- 使用前に本書を熟読し、本製品の機能・使用方法を理解した上でご使用下さい。
- 本製品の分解・改造・修理をご自身で行わないで下さい。
- 火災・感電・故障の恐れがあります。製品のシールやカバーをご自身で取り外さないで下さい。
- 風呂場など、水分や湿気の多い場所では、本製品を使用しないで下さい。火災発生の原因、感電の危険性、製品の故障発生の原因に繋がる危険性があります。
- 本製品を落としたり、強い衝撃を与えたりしないで下さい。
- 採血器として使用しないで下さい。
- 可燃性の液体・気体が存在する場所で使用は行わないで下さい。爆発や火災が発生する危険性があります。
- 洗浄・廃棄の際には感染症に対する適切な注意を払って下さい。

【形状・構造】

＜１・形状＞

＜２・寸法及び重量＞

寸法：Ｗ４４０（５００）×Ｄ２３５×Ｈ９１５（９５０）
（突起物含む寸法）
重量：約３２.０ Ｋｇ

＜３・電気的定格＞

定格電源：AC１００V （５０／６０Hz）
消費電流：５.０A（MAX）　待機時０.１A 以下

＜４・医療機器分類＞

特定保守管理（クラスⅡ）／ 第３区分（特管）

＜５・性能＞

最大吸引圧：－９３.３Kpa ／ －７００mmHg
吸引流量（５０／６０Hｚ）：８０／９４L min
吸引ボトル容量：３.０Ｌ ×１

【各部の名称及び解説】

1. **電源スイッチ：**本機器を作動させるメインスイッチです。ON 状態の時は緑点灯します。
2. **MODE スイッチ：**
   CONTINUOUS：連続運転モードになります。
   FOOT S/W：付属の足踏みスイッチで操作する場合は設定を FOOT S/W にして下さい。足踏みスイッチを踏んでいる（ON）間のみ吸引動作します。
3. **圧力調整バルブ：**吸引圧を調整するバルブです。
   INCREASE（高吸引）～ DECREASE（低吸引）の範囲を調整します。
4. **吸引メーター：**現在使用中の圧力を － Kpa で表示します。
5. **吸引ボトル：**対衝撃性に強く・軽量のポリカボネート製の吸引ボトルを使用しております。容量３.０Ｌ
6. **ボトルキャップ：**ABS 樹脂で作成されている吸引ボトル用の蓋です。
7. **フロートストッパー：**吸引ボトル内の容量が規定値以上になってしまった際に本体内部の吸引ポンプに混入させない為の安全ストッパーになります。
8. **IN ソケット：**付属の患者側ホースを接続します。
9. **OUT ソケット：**ホースは本体へ接続します。
10. **安全サブボトル：**吸引ボトルのオーバーフロー時のサブボトルの役目をします。
11. **フットスイッチ接続コネクター：**付属の足踏みスイッチを接続するコネクター
12. **電源ケーブル：**ＡＣコンセントに接続します。
13. **移動用キャスター：**機器使用時はキャスターをロックします。

取扱説明書を必ずご参照下さい。

【操作方法又は使用方法等】

詳細につきましては別紙取扱説明書を参照下さい。

＜使用前の準備・確認事項＞

1. 使用場所にて移動用キャスター⑬をロックしてください。
2. 安全サブボトル⑩が本体右側面に適切に取り付けてください。
3. ボトルキャップ⑥にフロートストッパー⑦が適切に取り付けられているか確認下さい。
4. ボトルキャップ⑥を吸引ボトル⑤に取り付けられてください。
5. 吸引ボトルの OUT ソケット⑨を本体ホースと接続します。

＜使用中の操作：CONTINUOUS・連続運転の場合＞

1. 電源ケーブル⑫を電源コンセントに接続して下さい
2. 本体の MODE スイッチ②を CONTINUOUS に選択します。
3. 電源スイッチ①をＯＮにします。電源ランプと MODE スイッチ②が点灯し吸引が開始されます。
4. 圧力調整バルブ③にて吸引圧を調整して下さい。右“INCREASE”に回す程 真空圧が上昇し左“DECREASE”に回す程 真空圧が低下します。
5. 吸引作業が終了したら圧力調整バルブ③を左“DECREASE”にし吸引圧を「０」に戻してください。
6. 本体の電源スイッチ①を OFF にして電源を切って下さい。

＜使用中の操作：足踏みスイッチ使用の場合＞

1. 足踏みスイッチのケーブルを本体のフットスイッチ接続コネクター⑪に接続します。
2. 電源ケーブル⑫を電源コンセントに接続して下さい
3. 本体の MODE スイッチ②を FOOT S/W に選択します。
4. 電源スイッチ①をオンにします。電源ランプが点灯します。この段階ではまだ吸引はされません。
5. 足踏みスイッチを踏む事で吸引が開始され離すと終了します。
6. 圧力調整バルブ③にて吸引圧を調整して下さい。右“INCREASE”に回す程 真空圧が上昇し、左“DECREASE”に回す程 真空圧が低下します。
7. 吸引作業が終了したら圧力調整バルブ③を左“DECREASE”にし吸引圧を「０」に戻してください。
8. 本体の電源スイッチ①を OFF にして電源を切って下さい。

＜組み合わせて使用する医療機器＞

交換用吸引ボトルには、当社指定の「Elite 吸引ボトル B3000P」（医療機器届出番号：13B2X10127000001）を使用して下さい。従来型吸引ボトルを使用している場合は、破損・変形・劣化等がなく正常に使用できることを確認して使用し、交換の際は B3000P を使用して下さい。

＜使用後の作業＞

1. 各ホースソケット⑧⑨をボトルキャップ⑥より取り外します。ソケットは抜き差しできます。
2. 吸引ボトル内の吸引物を廃棄します。安全サブボトル⑩に汚物の蓄積がある場合は安全サブボトル内の汚物も廃棄して下さい。
3. 取扱説明書に従い、吸引ボトル⑤、フロートストッパー⑦、安全サブボトル⑩、ホース類を分解清掃・消毒を行って下さい。

消毒・滅菌方法は下表を参照して下さい。

薬液名	希釈した水溶液に浸す	処理後
オスバン消毒液	0.1%に希釈した水溶液に 10～30 分	滅菌水又は蒸留水を使用し、すすぎ洗いをした後、乾燥させる
ヒビテン液		
グルコン酸クロルヘキシジン液		
次亜塩素酸ナトリウム	0.02～0.05%に希釈した水溶液にて 10 分	
消毒用エタノール	使 用 不 可	
グルタルアルデヒド		
オートクレーブ滅菌	121℃, 15 分（フロートストッパーは不可）	滅菌器での乾燥は行わず自然乾燥させる。
※Elite 吸引ボトル B3000P を使用する場合は、B3000P の添付文書に記載された洗浄・消毒・滅菌条件に従って下さい。B3000P の蓋（ABS 樹脂製）はオートクレーブ滅菌できません。		

4. 組立て後は必ず機能テストを行い、各部品が正常に作動する事を確認して下さい。

【使用上の注意】

＜重要な基本的な注意＞

1. 本機器を使用できるのは、適正な訓練を受けた人に限られます。
2. 使用中は機器及び患者に常に注意を払い、もし異常が発見された場合には速やかに機器を停止し患者の安全を最優先に適切な措置を行うこと。
3. 吸引中は常に吸引メーターを確認し使用吸引圧を把握すること。
4. 点検又は修理を受ける必要があるかを判断する為に１ヶ月に１回は取扱説明書の機能テストを実施こと。

＜その他の注意＞

1. 吸引ボトルからポンプ内への液体のオーバーフローが疑われる場合には修理を依頼すること。
2. 本体内部はお客様ご自身では修理できません。本体は絶対に分解しないこと。
3. 安全ボトルに吸引物が蓄積されている場合はボトル内の汚物を速やかに廃棄すること。
4. 本体内の吸引フィルターは半年に１回の割合で交換を実施すること。

取扱説明書を必ずご参照下さい。

【貯蔵・保管方法及使用期間等】

＜貯蔵・保管方法＞

1. 機器は水のかからない場所、又は日光、ホコリ、塩分、硫黄分などを含んだ空気等により悪影響の生ずる恐れのない場所に保管する事。
2. 機器は温度-２０℃～６０℃、相対温度１５～９０％の半以内で振動・衝撃のない平らな安定した場所に保管する事。
3. 機器・付属品などは次回の使用に支障がないよう必ずクリーニングする事。

【保守点検に関わる事項】

1. 機器及び構成品は必ず定期的に点検を実施する事。
2. 機器を正しく作動させる為に取扱説明書をよく読んで保守点検の実施や修理依頼の判断を行い安全な運用を心がける事。
3. 機器をしばらく使用しなかった場合に再使用する際には使用前に必ず正常かつ安全に作動するか確認する事
4. 機器のカバーを取り外しご自身で点検作業を行わないで下さい。
5. 保守点検及び修理は正規の資格である医療機器修理業の許可を取得した業者に委託すること。
6. 機器の動作に少しでも異常が認められた場合は弊社又は販売会社へ御連絡すること。

【包装】

・ 紙製段ボールによる梱包
・ システム１セット/箱

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称及び住所等】

製造販売業者：富士医療測器株式会社
住所：東京都足立区保木間１－８－１４
電話番号：０３－３８８４－５７９７

取扱説明書を必ずご参照下さい。